



トモニホールディングス株式会社

**お客さま本位の業務運営への取組状況
(平成30年度)**

令和元年6月

1. 最適な金融商品の提供

- お客さまの多様なニーズにお応えできるよう、各種商品の特性・リスク・手数料等を十分把握したうえで、お客さまの資産形成に資する商品を選定し、金融商品ラインアップの充実に努めました。
- 新たなラインアップとして、投資信託については、株式ファンド1商品の取扱いを開始し、合計39商品となりました。生命保険については、円建及び外貨建終身保険等、5商品の取扱いを開始し、合計11商品となりました。
- お客さまの中長期的な資産形成に配慮した提案を積極的に行い、お客さまのニーズやライフプランに応じた金融商品の販売に努め、平成30年度の投資信託の販売額は23億円(投資信託のうち毎月分配型以外の商品の販売比率65%)、生命保険の販売額は28億円、平成31年3月末における預り資産残高は、161億円となりました。

当行は、引き続き、お客さまのニーズにお応えできる最適な商品のご提供に努めてまいります。

(1) 商品ラインアップの充実

① 投資信託ラインアップ(平成31年3月末)

カテゴリ	取扱商品数	取扱商品比率
国内債券	1	3%
国内株式	5	13%
海外債券	11	28%
海外株式	15	38%
REIT	4	10%
バランス型	3	8%
その他	0	0%
合計	39	100%
うちノーロード商品	6	15%

※取扱商品は、インターネットバンキング購入及び定時定額購入の専用商品を含み、単位型商品を含んでおりません。

※バランス型とは、国内外の債券・株式、REIT(不動産投資信託)等を組み合わせて運用する投資信託のことです。

※ノーロード商品とは、購入時の販売手数料が無料の投資信託のことをいいます。

② 生命保険ラインアップ(平成31年3月末)

＜一時払い＞

商品種類	取扱商品数	取扱商品比率
円建	4	36%
変額年金保険	0	0%
定額年金保険	0	0%
終身保険	4	36%
外貨建	7	64%
変額年金保険	1	9%
定額年金保険	1	9%
終身保険	5	45%
合計	11	100%

＜平準払い＞

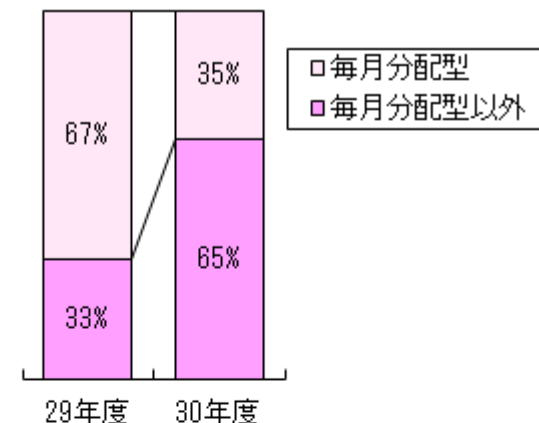
商品種類	取扱商品数	取扱商品比率
終身保険	4	31%
定期保険	3	23%
医療・がん保険	4	31%
学資保険	0	0%
年金・養老保険	2	15%
合計	13	100%

(2) 投資信託販売状況及び預り資産残高推移

① 投資信託販売に占める毎月分配型以外の商品の販売額と販売比率

(単位: 百万円)

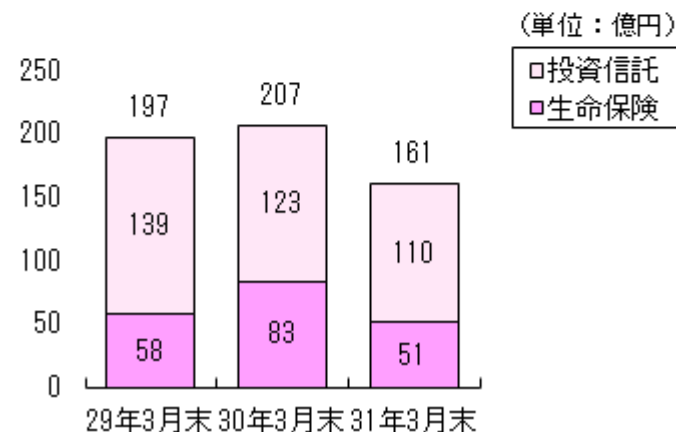
	29年度	30年度
販売額	4,165	2,366
うち毎月分配型以外	1,357	1,532
毎月分配型以外の商品の販売比率	33%	65%



② 預り資産の残高推移

(単位: 億円)

	29年3月末	30年3月末	31年3月末
投資信託	139	123	110
生命保険	58	83	51
合計	197	207	161



③投資信託販売額上位10銘柄

[平成30年度上期]

順位	商品名	カテゴリ	毎月分配型
1	グローバル・ロボティクス株式ファンド(年2回決算型)	海外株式	
2	世界eコマース関連株式オープン	海外株式	
3	アジア・オセアニア好配当成長株オープン(毎月分配型)	海外株式	○
4	ニッセイオーストラリア高配当株ファンド(毎月決算型)	海外株式	○
5	トレンド・アロケーション・オープン	バランス型	
6	インデックスファンドJPX日経400	国内株式	
7	イーストスプリング・インド株式オープン	海外株式	
8	ダイワ日本国債ファンド(毎月分配型)	国内債券	○
9	ワールド・リート・セレクション(アジア)	REIT	○
10	次世代米国代表株ファンド	海外株式	

[平成30年度下期]

順位	商品名	カテゴリ	毎月分配型
1	次世代米国代表株ファンド	海外株式	
2	三菱UFJ Jリートオープン(3ヵ月決済型)	REIT	
3	ワールド・リート・セレクション(アジア)	REIT	○
4	ニッセイオーストラリア高配当株ファンド(毎月決算型)	海外株式	○
5	ストックインデックスファンド225	国内株式	
6	アジア・オセアニア好配当成長株オープン(毎月分配型)	海外株式	○
7	世界eコマース関連株式オープン	海外株式	
8	トレンド・アロケーション・オープン	バランス型	
9	グローバル・ロボティクス株式ファンド(年2回決算型)	海外株式	
10	ダイワ・US-REITオープン(毎月決算型)Bコース(為替ヘッジなし)	REIT	○

2. 適正な情報提供の実施

- 資産運用、相続・贈与等をテーマとしたお客さま向けセミナーを21回開催(参加人数268人)するなど、お客さまの金融知識や経験・資産の状況に応じた適正な情報提供に努めました。
- 提案する金融商品の特性・リスク・手数料等について、投資経験の少ないお客さまにもわかりやすくかつ丁寧に説明するよう努めるとともに、保有資産の状況や市場動向等の情報提供を通じて、お客さまそれぞれの資産形成の目的に応じた適時適切なアフターフォローを行うよう努めました。
- 平成28年10月以降、保険代理店手数料の開示を行うこととし、お客さまの投資判断に資するよう、金融商品販売に係る各種手数料の透明性の向上に努めております。

当行は、引き続き、お客さまの金融知識や経験・資産の状況に応じた適正な情報提供に努めてまいります。

(1) お客さま向けセミナーの開催状況

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
開催回数(回)	3	19	21
参加人数(人)	35	217	268

3. 業務運営態勢の整備

- 役職員に対しお客さま本位の業務運営を徹底するとともに、商品知識の習得やコンサルティング能力の向上を目的とした研修を44回開催(参加人数1,270人)するなど、プロフェッショナル人材の育成に努めました。

当行は、引き続き、お客さまへの最良の金融サービスの提供を目指し、プロフェッショナル人材の育成を図るとともに、お客さま本位の業務運営の実践に向けた態勢整備に努めてまいります。

(1) 行員向け研修の開催状況

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
開催回数(回)	32	29	44
参加人数(人)	888	718	1,270